



## PASS XA .8 シリーズ Class A Power Amplifier

1997 年以来、特許 Super Symmetric 回路トポロジーを使っている XA シリーズアンプは、Pass Labs の主力ハイパワーアンプです。7 年前の XA.5 シリーズの発表以来 PASS Labs は、次に何が出来るかを研究し続けてきました。

PASS Labs は、小出力でシンプルなクラス A 回路の素晴らしさを認識しています。特にスピーカーが高効率で音楽ソースがそれほど複雑でなければその素晴らしさを実感できます。そのコンセプトは、ネルソン・パスによる "First Watt" ブランドで実証されました。

今回発表された XA.8 (ポイント 8) シリーズは、さらに進化を遂げ小出力でシンプルなクラス A 回路の良さを兼ね備えつつ大出力と精緻さを併せ持ったパワーアンプです。

少ないステージ構成に、多くのハードウェアを投入し、少ないフィードバックで少ない歪みを実現しています。

さらにそれらの複雑に絡み合う要素を各モデル個別に調整して、最終的に音楽性を追求したハーモニーを生み出します。

新設計の出力ステージは、フラッグシップ パワーアンプ XS シリーズの開発で得た技術を惜しみなく投入しています。

より多くの出力素子を使用し、それに伴いヒートシンクも大型化されています。ヒートシンクを含め若干大きくなったシャーシがより大きなクラス A バイアス電流の証です。

最も大きな改良点は、全体で 3 つに別れるステージのフロントエンドの入力ステージと電圧ゲインステージになります。

XA.5 シリーズでは、基本的には各モデル共通のフロントエンドを採用していましたが、XA.8 シリーズでは、各モデルの出力ステージの諸特性に合わせて個別にセッティングされています。フロントエンドにより各モデルの出力ステージのそれぞれ異なったトランスファークラップに最も適したフィードバックをコントロールしています。これら最適化の調整方法は、まず始めに測定数値による目標とすべき基準を設け、その後 6 つの異なったオーディオシステムにおける膨大なリスニングテストによって最終決定されます。

フロントエンドは、東芝製の Jfet, Mosfet, Bipolar トランジスターによって構成されています。これらの素子は既に生産終了になっていますが、PASS Labs では、XA.8 シリーズの為に十分な数量を確保しています。

それらの増幅素子のバイアスとドレインを慎重に調整し、出力回路に最も適したロードとフィードバックを選択します。

電圧ゲインステージもより大きなバイアス電流、極めて低い歪みレベル、より大きな出力ステージのドライブの為に、ヒートシンクは大型化されています。さらにアンプ回路においては、バイアスレギュレーター回路以外は、キャパシターは使用されていません。これらの結果は、フロントエンドの高安定化、低歪み、低ノイズに結びついています。

XA.8 シリーズの電源部は、従来の XA.5 シリーズより大型化されており XA30.8, XA60.8, XA100.8 にいたっては、ほぼ 3 倍のキャパシター容量になっています。付け加えて電源供給のリップル低減ために新たな CRC フィルターが加わっています。AC プライマリーサーキットには RF フィルターを追加し、伝統の平行のレクティブファイアと大容量のトロイダルトランスを搭載しています。

フロントエンドは、独立した強力な電源部を備えています。このレイアウト構成により、出力ノイズレベルはさらに 10dB 抑えられ、ピーク出力とアバレイジノイズフロアとのレンジは、130dB 以上を確保しています。

新しい PASS XA.8 シリーズは、広大なダイナミックレンジと、豪快で制御された低域、PASS Labs. 伝統の暖かい中域、そして甘く魅力的な高域をきめ細かな情報量で再現します。

